

# 盛岡市出資等法人 経営評価シート

(平成24年4月1日現在)

## 1 法人の概要

法人名	財団法人盛岡国際交流協会	所管課	文化国際課
所在地	〒 020 - 8531 盛岡市若園町2番18号		
電話番号	( 019 ) 626 - 7524	設立年月日	平成 4 年 11月 17日
代表者	理事長 三浦 宏 <input type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	<input type="checkbox"/> 市OB	<input type="checkbox"/> 市現職 <input checked="" type="checkbox"/> その他
設立目的	本協会は、盛岡市の歴史、文化その他の特性を生かしながら、幅広い分野における国際交流活動を展開することにより、市民の国際相互理解と国際友好親善の促進を図り、もって「世界に開かれた魅力あるまち・盛岡」の創造に寄与することを目的として、次の事業を行う。		
主要事業	① 国際交流に関する調査研究及び情報の収集並びに提供 ② 国際交流に関する啓発普及 ③ 国際交流団体及び国際交流ボランティアの育成及び連絡調整 ④ 国際交流事業の計画の策定及び実施 ⑤ 姉妹都市交流の推進 ⑥ 被災者支援事業		

## 2 情報公開の状況

法人のホームページの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり (アドレス <a href="http://www.e-morioka.com/~moriintl/top.html">http:// www.e-morioka.com/~moriintl/top.html</a> )
	<input type="checkbox"/> 作成中・作成計画あり (公開予定時期 平成 年 月) <input type="checkbox"/> 作成予定なし
法人ホームページでの情報の提供内容(作成中の法人においては提供予定内容)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業内容 <input checked="" type="checkbox"/> 財務状況 <input checked="" type="checkbox"/> 役員氏名 <input type="checkbox"/> その他( )
ホームページ以外での情報提供の方法	情報機関紙 国際交流「もりおか」で情報の提供

## 3 職員構成及び給与体系

(単位:人)

		常勤			非常勤	合計	
			うち市OB	うち市派遣			
役員	理事				16	16	
	監事			0	2	2	
	計	0	0	0	18	18	
職員	管理職	正職員			1	1	
		臨時職員		—	—		
	一般職	正職員	0			3	4
		臨時職員	1	—	—		
	計	正職員	0	0	0	4	5
		臨時職員	1	—	—		
前年度と比較して職員数の増減		増 0	減 0	常勤職員の平均年齢	43	歳	
常勤職員の給与体系		<input type="checkbox"/> 法人独自の給与体系 <input type="checkbox"/> 市の給与体系を準用 <input checked="" type="checkbox"/> その他(臨時職員のみ市の給与体系を?)					

4 財政状況等

資本金 (基本財産)	100,000 千円	本市出資等額	100,000 千円	本市出資等割合	100.0 %
主な出資等者					
① 盛岡市			(出資等割合	100 %)	
③			(出資等割合	%)	
④			(出資等割合	%)	
⑤			(出資等割合	%)	
平成23年度における当 市の財的関与の状況	補助金	5,000 千円	(収入全体の	57.8 %)	
	負担金・交付金	0 千円	(収入全体の	%)	
	委託料	0 千円	(収入全体の	%)	
	指定管理料	0 千円	(収入全体の	%)	
	貸付金	0 千円	(収入全体の	%)	
補助金内訳					
① 盛岡国際交流協会事業補助金		(23年度予算額	5,000	千円)	
②		(23年度予算額		千円)	
③		(23年度予算額		千円)	
負担金・交付金内訳					
①		(23年度予算額		千円)	
②		(23年度予算額		千円)	
委託料内訳					
①		(23年度予算額		千円)	
②		(23年度予算額		千円)	
指定管理料内訳					
①		(23年度予算額		千円)	
②		(23年度予算額		千円)	
③		(23年度予算額		千円)	
貸付目的	(貸付金がある場合記入)	利用料金対象施設		(利用料金制を採用している施設がある場合記入)	
		利用料金収入(21年度予算額)		千円	
		法人の収入全体の		%	
新公益法人会計基準(平成16年10月14日公益法人の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ)実施の状況					
<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 (平成 18 年度から) <input type="checkbox"/> 実施予定 (平成 年度から) <input type="checkbox"/> 未定					

5 指定管理者となっている公の施設(現在, 公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名称	
-------	--

## 6 法人の経営内容の詳細(その1:公益法人用)

※複数の会計を持つ法人は、合算して記載すること。

(単位:千円, %, 人)

区 分		平成21年度	平成22年度	平成23年度
収支の状況	総収入	11,906	12,623	10,109
	当期収入(A)	10,212	10,100	8,645
	基本財産運用収入	1,502	1,500	1,500
	会費収入(入会金収入を含む)	424	381	360
	補助金等収入	6,000	6,000	5,000
	うち市からの補助金等(B)	6,000	6,000	5,000
	事業収入(C)	2,263	2,196	1,762
	うち自主事業収入	1,482	2,196	1,762
	うち市からの委託料(D)	781	0	0
	うち市からの指定管理料(E)	0	0	0
	繰入金収入	0	0	0
	市からの借入金	0	0	0
	その他の収入	23	23	23
	前期繰越額	1,694	2,523	1,464
	総支出	9,384	11,159	9,113
	当期支出	9,384	11,159	9,113
人件費	2,588	2,015	2,022	
事業費(人件費除く)	5,954	8,443	6,459	
管理費(人件費除く)	842	701	632	
資産取得支出	0	0	0	
繰入金支出	0	0	0	
その他の支出	0	0	0	
当期収支差額	828	▲ 1,059	▲ 468	
次期繰越収支差額	2,523	1,464	997	
財産の状況	資産(F)	102,839	101,746	101,274
	うち固定資産	100,011	100,011	100,011
	うち流動資産(G)	2,828	1,735	1,263
	負債	304	270	266
	うち固定負債	0	0	0
	うち流動負債(H)	304	270	266
正味財産(I)	102,535	101,476	101,008	
うち当期正味財産増減額	796	▲ 1,059	▲ 468	
財務指標	流動比率(G/H)	930.2	642.5	474.8
	自己資本比率(I/F)	99.7	99.7	99.7
	当期収入に占める市補助金等の割合(B/A)	58.7	59.4	57.8
	事業収入に占める市委託料, 指定管理料の割合((D+E)/C)	34.5	0.0	0.0

区 分		平成21年度	平成22年度	平成23年度
組織の状況	常勤役員数	0	0	0
	うち本市OB	0	0	0
	うち本市派遣職員	0	0	0
	職員総数	5	5	5
	うち常勤職員数	5	5	5
	うち本市OB	0	0	0
	うち本市派遣職員	0	0	0
	うち管理職員数	1	1	1
	常勤役員比率(常勤役員数/総役員数)	0	0	0
	管理職員比率	20.0	20.0	20.0
職員新規採用数	0	0	0	
うち常勤職員数	0	0	0	
事業指標	① 図書等貸出件数	118	110	74
	② 出版物発行冊数	1,200	1,200	1,200
	③ 補助金交付団体数	3	4	3
	④ 国際交流事業参加者数	480	520	500
本市の財政的関与等の状況	補助金額	6,000	6,000	5,000
	① 財盛岡国際交流協会補助金	6,000	6,000	5,000
	②			
	③			
	負担金・交付金額	0	0	0
	①			
	②			
	委託金額	0	0	0
	①			
	②			
	上記のうち再委託額			
	上記業務の委託契約方法			
	指定管理料	0	0	0
	①			
	②			
③				
貸付金額	0	0	0	
損失補償額	0	0	0	
債務保証額	0	0	0	

平成23年度決算の概要

- 1 情報収集提供事業…国際交流に関する図書等の収集と貸し出し(・蔵書数619冊,ビデオ167本)
- 2 啓発普及事業…機関紙年3回発行, 3ヶ国語生活情報紙年4回発行, 中学生による国際交流コンテストの実施, 語学入門講座の開催。
- 3 団体等育成事業…ボランティア通訳登録者研修会, 同登録者の斡旋, 国際交流事業補助金の交付。
- 4 国際交流事業…料理講座の開催3回, 国際理解(地球環境)講座の開催, アジアの屋台村の開催, 2010ワン・ワールド・フェスティバルにいわてへの共催。外国籍市民支援講座の開催。日本文化体験講座の開催。
- 5 姉妹都市等交流促進事業…中学生ビクトリア市研修, 姉妹都市締結25周年記念事業実行委員会の一員として事業の推進に努めた。
- 6 被災者支援事業…留学生震災座談会, 義援金の募金活動、被災地での「世界の屋台村」の開催などを実施した。

法人の経営内容の詳細(その2)

法人名	(財)盛岡国際交流協会
所管課	文化国際課

(1) 目的適合性(公益性)

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 設立目的	1	法人は、設立目的に沿った活動を行っている。	○	
	2	全ての事業内容が、設立目的または趣旨にしたがって展開されている。	○	
	3	現在の社会経済情勢の下でも、法人の設立目的や事業には公益性が認められる。	○	
	4	法人を取り巻く社会経済状況は、設立当初から大きな変化はない。		○
2 代替性	5	民間等(株式会社の場合、他の事業者等)において、代替が可能な類似の事業が行われていない。	○	
	6	現在の事業量は、最大時の事業量と比べて著しく減少していない。	○	
	7	法人が事業を廃止すると、事業の実施する事業者がまったくなくなり、市民が不利益を被る。	○	
3 市の施策推進における役割	8	法人の活動は、関連する市の政策、施策に結びついている。	○	
	9	盛岡市総合計画やその他の部門別計画において、法人の役割が規定されている。	○	
	10	盛岡市総合計画やその他の部門別計画において、法人が実施する事業の施策上の役割、方向が規定されている。	○	
合計			9	1

はいの割合 

90	%
----	---

・評価コメント

目的適合性(公益性)について総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	[ 現状 ] ・盛岡市の歴史、文化その他の特性を生かしながら、幅広い分野における国際交流活動を展開することにより、市民の国際相互理解と国際友好親善の促進を図り、もって「世界に開かれた魅力あるまち・盛岡」の創造に寄与することを目的とする公益的な事業の充実を図っている。
	[ 課題 ] ・盛岡市と協力し中国をはじめ47か国の外国籍市民が盛岡市で生活しているので、国籍や民族等の違いに関わらず、すべての人がお互いの文化や考え方を理解し、地域社会を支えていかなければならない。
	[ 方策 ] ・医療・福祉・防災・生活などの専門分野での通訳の支援に携わる場面も多くなっているので、外国籍市民の多言語による支援を関係機関と考えていく。
所管課	[ 現状 ] ・盛岡国際交流協会は、市民の国際相互理解と国際友好親善の促進を目的に交流を中心に公益的事業を展開している。
	[ 課題 ] ・国籍や民族等の違いに関わらず、すべての人がお互いの文化や考え方を理解し、地域社会を支える一員と認め合い役割を果たしていかなければならない。
	[ 方策 ] ・協会が実施する事業に協力するとともに、盛岡市における多文化共生の将来像について、協会及び市内の国際交流団体と情報交換をする機会を創っていかなければならない。

## (2) 計画性

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 経営基本方針	1	経営基本方針を策定している。	○	
	2	経営基本方針の内容は、簡潔明瞭である。	○	
	3	経営基本方針には、法人の存在理由が規定されている。	○	
	4	経営基本方針について、経営陣が全ての役職員に周知している。	○	
	5	経営基本方針は、全ての役職員に浸透している。	○	
	6	全ての役職員が、経営基本方針に従った行動をとっている。	○	
2 中長期経営計画	7	具体的な指標に基づく中長期経営計画を策定している。	○	
	8	中長期経営計画と実績についての分析は、半期以内のサイクルで行っている。		○
	9	中長期経営計画と実績についての分析結果を経営陣に報告し、分析結果に基づき業務改善を議論する仕組みがある。	○	
	10	中長期経営計画と実績についての分析結果を中長期計画の見直しに反映させている。	○	
	11	中長期経営計画と実績についての分析結果に基づき、計画を達成するための具体的な業務の改善策を実施している。	○	
3 年次事業計画	12	年次ごとの事業計画を策定している。	○	
	13	年次事業計画と実績について分析し、分析結果を次年度以降の事業計画や中長期経営計画に適切に反映させる仕組みとなっている。	○	
	14	年次事業計画と実績についての分析は、半期以内のサイクルで行っている。	○	
	15	年次事業計画と実績についての分析結果を経営陣に報告し、議論する仕組みがある。	○	
	16	年次事業計画と実績についての分析結果に基づき、具体的な業務の改善策を実施している。	○	
4 経営環境の把握	17	法人の経営資源の長所、短所を把握し、法人の活動に反映させている。	○	
	18	外部経営環境(事業に関わる社会経済の動向・法令等の動きなど)を把握している。	○	
合計			17	1

はいの割合

94 %

## ・評価コメント

計画性について総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	[ 現状 ] ・平成23年3月に策定した (財)盛岡国際交流協会第2次計画に基づき事業を展開している。
	[ 課題 ] ・計画の実施にあたり、事業費の確保が難しくなっている。
	[ 方策 ] ・(財)盛岡国際交流協会第2次計画に基づき事業を実施し、実施した事業を評価し、アンケートの結果等が反映された目標をたて、目指す成果を明確にしつつ事業を進めていく。
所管課	[ 現状 ] ・(財)盛岡国際交流協会第2次計画に基づいた事業が展開されている。
	[ 課題 ] ・市民の意見が反映された事業計画となっているか、検証する必要がある。
	[ 方策 ] ・実施している事業の達成度の検証を行ないながら、協会と共同で課題の解決に当たる。また、市民及び国際交流団体と、どのような事業が必要とされているか把握し、計画に取り組んでいく。

## (3) 経営管理の仕組み

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 組織管理	1	組織構造は経営環境の変化に応じて定期的に見直しされている。	○	
	2	組織を機能ごと、または事業ごとに分け、役割を明確にしている。	○	
	3	部門ごとの連携が円滑に行われる組織体制になっている。	○	
	4	異なる業務間の配置転換、権限委譲等により組織の活性化を図っている。	○	
2 コスト管理	5	事業別、業務別など、個別の事業内容に関するコスト分析を実施している。	○	
	6	コスト分析の結果が、経営計画や事業内容へ反映される仕組みとなっている。	○	
3 顧客満足度	7	定期的に顧客満足度調査を実施している。	○	
	8	顧客満足度調査の結果を分析し、分析結果を経営に適切に反映させる仕組みとなっている。	○	
	9	顧客満足度調査の結果を分析し、顧客のニーズを把握している。	○	
	10	顧客のニーズを分析し、その結果を踏まえて改善努力をしている。	○	
	11	中長期経営計画や年次事業計画に顧客のニーズを反映させている。	○	
4 職員の 人材育成・能力 開発	12	業務に必要な知識を身につけるための職員研修や派遣を実施している。	○	
	13	研修等により、実際に職員の能力・技術が向上している。	○	
	14	職員が法人の活動に関わりのある資格を取得している。	○	
	15	職員が研修で得たノウハウを、他の職員も共有している。	○	
	16	必要に応じ、専門知識を有する外部の人材を活用(職員として採用、指導や助言を受ける、など)している。	○	
	17	人材育成や能力開発を中長期経営計画等に盛り込んでいる。	○	
	18	経営陣は、人材育成や能力開発に積極的に関与し、かつ自らも学習し取り組んでいる。		○
5 業務執行体制	19	決裁などの日常業務の意思決定や事務分掌、現金管理等、業務上の必要な規定が適切に整備されている。	○	
	20	理事会、取締役会をはじめとした業務執行体制が関係法令等に基づき適切に整備され、実質的に機能を果たしている。	○	
	21	経営上重要な意思決定は、理事会(取締役会、株主総会)の決議により行っており、必要に応じて迅速に開催できる体制が整っている。	○	
	22	監査の指摘事項に対して、改善策を実施している。	○	
	23	財務状況は、年度途中で定期的(必要があれば随時)に経営陣に報告する仕組みがある。	○	
6 情報公開	24	法人の財務状況や事業成果を積極的に外部に公表している。	○	
合計			23	1

はいの割合 

96	%
----	---

・評価コメント

経営管理の仕組みについてについて総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	[ 現 状 ] ・事業ごとに担当職員を割り当て、役割を明確にし実施する事業のアンケートを実施し、満足度とかニーズの把握に努めながら実施している。
	[ 課 題 ] ・コスト面とか専門性等の問題で、事業の実施が困難な場合については、他団体と共同で事業を実施することが考えられる。
	[ 方 策 ] ・公益性を保ちながら経営を管理し、市内の国際交流団体と情報を交換しながら、有効な方策を検討する。
所管課	[ 現 状 ] ・平成21年度に盛岡市及び近郊で活動している、国際交流団体にアンケートを出し、メーリングリストに登録した団体等へ当協会の事業の紹介や他団体で実施する事業の紹介するなど情報を発進している。
	[ 課 題 ] ・経営陣と一緒にになった職員の人材育成・能力開発に取り組む必要がある。
	[ 方 策 ] ・岩手県国際交流協会等が開催する研修会とか講習会に経営陣一緒に参加し、人材育成や能力開発に取り組む。



## (4) 財務状況(公益法人用)

項目番号	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 財務状況	1	債務超過になっていない。	○	
	2	自己資本が十分に確保されている。		○
	3	借入金に依存しない資金運用を行っている。	○	
	4	市に対する収入依存度は改善の傾向にある。	○	
	5	正味財産増減額がプラスである。	○	
	6	資金収支が黒字である。	○	
	7	正味財産がプラスである。	○	
合計			6	1

はいの割合 

86	%
----	---

## ・評価コメント

財務状況についてについて総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	[ 現状 ]	・平成23年度から市からの補助金が100万円減額になったことに追い打ちをかけるように基本財産(国債)の運用に係る利率が低くなり、事業の規模を縮小しながら進めている。
	[ 課題 ]	・自立した経営のための自主財源の確保に苦慮している。
	[ 方策 ]	・基本財産の運用について、国庫債券(10年)を購入し財源の確保に努めた。 ・賛助会員(団体)の掘り起こしや実施している事業の評価を実施しスクラップ・アンド・ビルトを行ない限られた財源の中で効率的な事業展開を図る。
所管課	[ 現状 ]	・平成23年度から補助金として500万円を補助している。
	[ 課題 ]	・経費の削減は、限界に来ている。
	[ 方策 ]	・協会への補助金は、平成14年度をピークで補助金の全庁的な見直しがあり平成23年度から500万円となり現在に至っており、今後は現状の補助金の額を確保しつつ、新たな財源を協会と一緒に調査、研究する。

(5) 活動成果

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 成果指標	1	各業務について、成果指標が数値で具体的に設定されている。	○	
	2	法人の設立目的と連動した指標となっている。	○	
	3	事業ごとに数値目標を設定している。	○	
	4	指標や目標は、類似の事業を行う他の団体(他の地方自治体の出資等法人など類似団体、民間企業、非営利団体等)の動向を踏まえて設定したものである。	○	
2 活動成果の評価と公表	5	主要な成果指標について良好な水準を保っている、または改善の傾向にある。	○	
	6	成果指標の達成度について定期的に検証が行われている。	○	
	7	法人の活動成果について、外部委員等による定期的な点検・評価が行われている。	○	
	8	活動成果をホームページ等の媒体を使って住民に公開している。	○	
合計			8	0

はいの割合 100 %

・成果指標について(指標名と実績を記載願います。)

成果指標名	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度
① 図書等の貸出件数	冊	118	110	74
② 機関紙の発行	回	3	3	3
③ 国際交流事業補助金(国際交流団体への補助)	団体	3	4	3
④ アジアの留学生との交流事業	回	1	1	1
⑤ 地球環境に関する講座等	回	1	1	1

・評価コメント

活動成果について総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	[ 現 状 ] ・岩手県国際交流協会と事業が重複しないよう、事業計画について意見交換会を開き、年度計画に反映し作成している。 ・中学生ビクトリア市研修に係る参加人数を減員して事業に取り組んだ。 ・2011.03.11に発生した「東日本大震災」の被災者支援を実施している。 ・平成21年度に盛岡市及び近郊で活動している、国際交流団体にアンケートを出し、メーリングリストに登録した団体等へ当協会の事業の情報や他団体で実施する事業の紹介するなど団体間のネットワークを構築した。
	[ 課 題 ] ・国際理解講座等の開催にあたり参加人数のばらつきがある。
	[ 方 策 ] ・事業計画を作成する際には、国際理解講座等を実施した際のアンケート等を参考にしながら、ニーズ等を把握し話題性等を考慮しながら実施し、参加者の拡大を図る。
所管課	[ 現 状 ] ・外国籍市民から病院での手術とか、保健所における検診等で通訳の依頼が多くなってきている。
	[ 課 題 ] ・多言語による情報の提供を充実し、外国籍市民と一緒に生活していく環境の整備が求められている。(2011.3.11に発生した東日本大震災以降、避難場所・放射能の数値等を多言語での情報が欲しいという意見があった)
	[ 方 策 ] ・全庁的に事業の制度について説明とか窓口案内の表示パネルなどについて英訳等が必要となってきているので、協会と協力し進めていく。

(6) 平成21年度第三者評価結果(全体評価結果)における取組状況

・全体評価結果を踏まえて、市の財政状況に左右されない自立した経営や自主財源の確保策等これまでの法人及び所管課の取組状況について記載してください。

<全体評価結果(抜粋)>

1. 経営環境の変化への対応について

環境の変化に適切に対応しながら、確実に公益性を発揮し、市の施策の推進をサポートできる活動成果を継続的に上げていくことができるよう、経営管理体制の充実などの取組みが望まれます。

2. 補助金、指定管理料について

市の厳しい財政状況を踏まえ、義務的経費を除いた経営に要する費用を極力抑制しつつ、活動成果の維持・向上を達成しながら、補助金や指定管理料の抑制に努めることが望まれます。

出資法人	所管課
<p>自立した経営や事業実施に係る自主財源の確保のため、特に団体の賛助会員の掘り起こしに取り組んでいる。 また、公益財団法人への移行の申請手続きを進めており、移行後は、公益性を発揮し寄附金の税制優遇を利用し寄附金収入を積極的に受け入れ財源を確保し活動成果を上げていく。</p>	<p>市の厳しい財政状況の中、自主財源の確保について、(財)自治体国際化協会等の資金を活用した事業と一緒に考え、支援していきたい。</p>

(7) 平成21年度補助金評価結果における取組状況<所管課>

・21年度に庁内評価及び第三者評価を受けて策定した措置計画に対するこれまでの所管課の取組状況について記載してください。

名称	財団法人盛岡国際交流協会事業費補助金		所管課	文化国際課	
概要	(財)盛岡国際交流協会は、幅広い分野における国際交流活動の展開することにより、「世界に開かれた魅力あるまち・盛岡」の創造に寄与することを目的とした団体であり、その運営に対する補助金。				
	開始年度	H4	補助の相手方	財団法人盛岡国際交流協会	H21予算 6,000 千円
H21一次評価結果	見直し継続	有効性向上	①協会事業に対し参加している市民の満足度が高い。 ②各種団体と協働しながら外国籍市民の増加に対し支援事業を行っている。 ③アジアからの留学生が増加していることに伴い、お互いの文化や生活習慣の違いを理解しあう交流活動や異なる文化の理解を深めている。		
H21二次評価結果	見直し継続	有効性向上	所管課評価のとおりに		
H21措置計画	補助金の相手方である財団法人盛岡国際交流協会に評価結果を伝え、平成23年度から当該補助金を減額する方向で調整を行う。				
	H22	補助金を減額する方向で財団法人盛岡国際交流協会の事業内容の見直し、調整を行う。	H23	検討結果に基づき措置	H24 同左
措置状況		取組内容			
<input checked="" type="checkbox"/> 措置計画通り <input type="checkbox"/> 一部措置計画通りでない <input type="checkbox"/> 措置計画通りでない		補助金については、平成23年度から600万円から500万円に減額し、交付している。			